

どうして 発掘が必要なの?

①地域の歴史を知り、私たちの生活につながる 情報を得るため。

②道路や建物を造るために行う工事で遺跡が 壊れてしまう前に、記録を残すため。

発掘して見つかった遺跡や遺物をもとに昔 の人々の暮らしを研究する学問を「考古学」 と言います。

ひろまろくん

古代武義郡で働く役人をイメージしたキャラク ターです。関市池尻にある「弥勒寺西遺跡」 から「廣方呂」と墨で書かれた土器が発見さ れたことから名付けられました。

旦が行われ、 市 備や修理を進め 、市内には5件 市の歴史や 痕跡を探り 、 毎年 10 所を超える遺跡を調査しています。そこで今回は、古くからの の国・県・市の指定文化財(史跡)があります。発掘調査は市内、ます。遺跡の発掘調査では、現在までに約500件の遺跡調 財を守り伝えるため、遺跡や文化財、歴史資料を調査・研究 その記録の保存や復元、活用する取組とともに、関の

※指定文化財とは主文化財保護法や県・市の条例で定義されている文化財のうち、特に重要とされるもの。国・県・市が指定し

跡の魅力を紹介します





遺跡はどういうときに発見されるの?

遺跡は調査をしてはじめて確認されます。発掘調査は大きく分けて2種類!

【緊急発掘調査】

新たに建物を建てるときや道路を造るときに、地中に 埋まっている遺跡が発見されることがあります。工事で遺 跡が壊されてしまう前にいつの時代のものか、どのよう な場所であったか、詳しく正確に記録します。このような 調査を「緊急発掘調査」(行政発掘調査)と言います。



古町遺跡は保存され、一部を展示公開しています。

国内では年間約8,000件もの発 掘調査が実施されていて、その99%以 上が緊急発掘調査なんだ! せきてらすや 岐阜関刃物会館の古町遺跡がそう

だったよ!

【学術調査】

研究者が学問的、歴史的に重要だと判断した場所で、研究をすすめるために発掘調査をします。この調査を学術調査と言います。緊 急発掘調査で調べた遺跡の多くが調査後に壊されるのに対し、学術調査の場合は調査後に埋め戻して保存されることもあります。

令和3年度には…

国指定史跡「弥勒寺官衙遺跡群」をさらに調査!

国指定史跡「弥勒寺官衙遺跡群」は、古代武義郡の郡役所である弥勒寺東遺跡と寺院であ る弥勒寺跡、当時の武義郡をおさめていた有力豪族ムゲツ氏のお墓である池尻大塚古墳がセッ トで残っている全国的にも非常に貴重な遺跡です! 祭祀を行った弥勒寺西遺跡と併せて 弥勒寺遺跡群と呼び、このエリアを「弥勒寺史跡公園」として整備を進めています。

※ムゲツ氏とは…壬申の乱で活躍し、古代武義郡の役所で郡司(役人)をしていたとされる有力豪族。

関市の遺跡を 語るうえでは 欠かせない場所!



門は長良川に面していました。

遺跡はどうやって発掘しているの?



重機で田んぼの 土など現代の 土を掘る





人の手で少しずつ地面を 削り、土器や遺構を探す

> 掘った土が簡単に運 べるように土専用のちり 取りを一から自作!



結果の報告書を 作成する



スコップを土が掘りやすいよう に曲げて使用!たくさん土が掘り 出せます。



土器などのかけらを くっつけ復元する



見つけた遺構を掘り、 特徴や時代を調べて いく

4

遺構や土器の位置などを 図面に記録する





※遺構…地面や地中に残る人々の活動の痕跡 遺物…土器や石器などの昔の人々が残したもの 普段の生活において遺跡は馴染みがないものですが、関市文化財保護センターでは1年を 通して皆さんに文化財に触れていただく機会を設けています。

超人気イベント見て、歩いて、聞いて知る「文化財ウオーク」

「文化財ウオーク」はウオーキングをしながら関の文化財について学ぶことができるイベントです。「古墳ウオー

ク」をはじめ、「遺跡めぐり」、「城跡めぐり」、「小瀬 鵜飼ウオーキングツアー などを開催しています。 古墳ウオークは関市に存在している300基もの 古墳の中から、文化財保護センターの職員がピッ クアップした古墳をめぐって、その場所ならではの 話やわかりやすい解説を聞くことができます。 (前回は受付開始から半日で予約がいっぱいにな るほどの大人気!!)





現地説明会や講演会・企画展

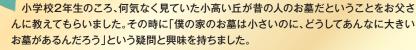
現地説明会では、発掘調査を行った現場で調査を担当する 文化財保護センターの職員が調査成果を説明します。講演会 や企画展は、市の原始・古代から近現代までの文化財の調査 結果や魅力を皆さんに知っていただくために開催しています。





安桜小学校5年生 古田

古墳の魅力に心奪われ自ら古墳の研究をしている少年を発見!!??



古墳を調べていくうちにどんどん好きになり、たくさんの古墳をめぐりました。今ではお 父さんお母さんも一緒になって古墳を見に行くようになり、家族みんな古墳が大好きにな りました。

実際に見に行って古墳の大きさを実感したり、形や歴史、疑問に思ったことを調べたりす ることがとても楽しいです。

僕が調べた古墳のことをたくさんの人たちに知ってもらって、歴史に興味を持ってもらう ことが夢です。これからも古墳をたくさん調べたいです!

藍乃介さんは夏休みの研究をもとに新聞を作成し、令和3年の9月に「第2回kid's 考古学新聞 コンクール」で入賞を果たしました!!



関の遺跡めぐり2022 「千疋の遺跡めぐり」

塚原遺跡公園には、縄文時代と古墳時代の遺跡があります。それ ぞれの時代の遺跡と出土品を解説します。また、現在は残っていま せんが陽徳寺裏山古墳群の跡地を見学します。3kmほど歩きます。

◆日 時:5月28日(土)午前9時30分~正午

◆場 所:塚原遺跡公園 ◆定 員:20人(申込順)

◆申込方法:5月9日(月)から文化財保護センター(☎45-0500)へ電話で申込み



そんな古墳マニアの藍の介さんの選んだ 【僕の好きな古墳ランキングで関市の古墳】をご紹介!



◆片山西塚古墳(小瀬)

関市唯一の前方後円墳!ちっちゃくてかわいいのが魅力!築造時期は5世紀後半の可能性があり、被葬者は古墳時代に小瀬地域一帯を治めた豪族の長の墓であると推測されています。



どうして関市には 前方後円墳がここ しかないのだろう?



片山西塚古墳 復元イメージ



◆池尻大塚古墳(池尻)

池尻大塚古墳はムゲツ氏 (P02) ゆかりの古墳で、2016年に国指定史跡・弥勒寺官衙遺跡群に追加されました。石室からは須恵器・土師器や鉄地金銅張飾金具が出土しています。





発掘調査の様子(2022年)

◆**落洞1号古墳**(武芸川町小知野)

落洞1号古墳は武芸川地域で最大級の古墳です。全長9.1mの横穴式石室があり、 6世紀後半~7世紀前半の古墳だと推定されています。石室内部は盗掘を受け、副葬





※通常は公開していません

関市の遺跡にふれてみて!

関市について知る第一歩「遺跡探訪」・「城跡探訪」!! 市内で見学できる遺跡のうち、ぜひ初めに触れてもらいたい遺跡や城跡のガイドブックを作成しています。

このガイドブックに記載されている二次元コードを読みとると、さらに詳しい情報が満載です! 初めての人でも探訪できるように地図や詳細が確認できます。

※遺跡探訪・城跡探訪は関市役所総合案内や各地域事務所にて設置・配布しています。



初心者でも





